



「最高の笑顔」

寒い中にも春のおとずれが聞こえてくるようになってまいりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

自分の身の回りでも、2月7日には家族より公園に咲いた一番桜の写真が送られてきて、春を感じさせてくれました。今年の冬は暖冬といわれていますが、朝晩は寒い日が続いていますので、皆様の健康が守られますようお祈りいたします。

先月号では、新型コロナウイルスのクラスターについてお知らせしましたが、その後は穏やかな日々が続いております。しかし、インフルエンザA型の感染が近隣で広がっており、当施設でもご利用者3名に陽性者が出ました。しかし、感染対策により広がることなく無事に収束することができました。新型コロナウイルスよりもインフルエンザのほうが感染力は低く、症状も穏やかなので、対策を行う私たちもあまり怖さを感じないという現象が起こりました。確かに感染対策は一緒ですし、コロナ前と比較すると、常に不織布マスクを以前はつけていなかったの、現時点のほうが感染対策しべ

ルは上がっていると感じております。

先日、90歳の誕生日を迎えたご利用者様がご家族と面会する機会がありました。ご本人・ご家族とともにとても素敵な笑顔を見せてくださり、周りのスタッフ共々幸せな気分になりました。

5月8日より、新型コロナウイルスをインフルエンザと同様の第5類に変更すること、3月中旬よりマスク装着も個人の判断となるなど、感染対策の緩和が行われるとの報道がありました。コロナ禍は続きますが、この素晴らしい笑顔を増やしていきたいこと、ご家族や地域の皆様との交流を再開することにより、お互いに理解し、支えあう関係づくりを再構築する努力を続けてまいりたいと思っております。

施設長 高原信夫



豆まき

2月3日、3Fフロアで節分イベントを行いました。

「鬼は外、福は内」と豆まきをし、邪気を払い、一年の幸せを祈りました。

記念撮影なども行い、感染症などの制限がある中で季節感のあるレクを行えたことはご利用者に於いても刺激になったと思います。

主任 竹内一平



第271号

令和5年2月15日発行
(毎月1回 15日発行)

責任者:施設長 高原信夫
〒241-0802

横浜市旭区上川井町 1988
社会福祉法人アドバンスト福祉会
シャローム横浜

編集委員

小林・荒金・石橋
☎045-922-7333

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



デザートバイキング

1月中旬、3Fフロアで行われた
デザートバイキングのメニューです↓



シャローム横浜の特養では、12月中旬からの新型コロナウイルス感染症拡大により、ご利用者の皆様においては楽しみの少ないお正月となってしまいました。面会も中止となりご家族の皆様においても新年のご挨拶などをする機会がなくなり大変申し訳ありませんでした。

春になりコロナ禍が落ち着く事を願うばかりです。

ケアサービス課長 山田 康裕

お楽しみデザートの日



2月5日、栄養課主催の行事で、おやつ時間にムースショコラ、いちごの練乳ムース2種類のケーキをお出し致しました。

ご利用者の方は大変喜ばれ、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

栄養課長 小寺 秀偉

「御言葉は、我が足のともし火、そして光です」

第179回 チャプレン 上前 至

昭和42年（1967年）私は感ずる所があり高3（17歳）の冬にバプテスマ（洗礼）を受けた。そしてそのまま、千葉県の時、内房総の檜葉にあった三育学院・神学科に入学した。神学科といっても牧師になるつもりは全くなかったし、なれるとも思っていなかった。ただ、更に聖書を深く学びたい希望がありその為にはその学科に入って学ぶのが一番だと思ったからである。

しかし、入ってすぐに失望した。こんなところに来るのではなかったとさえ思った。それは私なりにそこには敬虔深い人達が一杯おられ天国のような所と思っていたからである。ところがそうではなかった。言っている事はいい事をいっているが、やっていることと違う。虚しいとさえ思ったのである。しかし、私の本当の聖書の学び、信仰の学びはそこから始まったともいえる。即ち、それではそういうお前は何者か？お前は人を指さすほどの人間か？まさしくお前こそ醜い罪深い人間ではないか。という事に気づかされ、そんなお前

のためにキリストが死んでくださったのではないか。それはお前に何か価値があるからではなく無価値なお前の為の代わりに「生きよ」と死んでくださったお方によって生かされている。それは恵みの他はなくお前はそれを信ずるかと思いを叩かれたのである。その事に気づかされ、と同時に私が三育に来たのも神様の大きなみ手の内にあることを感謝したのである。『聖書のみ、信仰のみ』に生きる大切さをしみじみと感じさせられた。アドベンチスト福祉会の職員一人ひとりがそのような神の恵みによって生かされ働きに携わっていく者であっていただきたいと心より希望している。

「あなたのみ言葉はわが足のともし火、わが道の光です。」

詩篇119編105節

